

# 鉾山の神 モロクロガミ

## 【日本神話】

鉾山の神は**金山彦・金山姫**ですが、イザナギの嘔吐物から誕生したと伝わるほか、ほとんど活躍は描かれません。

## 【対馬の伝承・異伝】

対馬は**日本で最初に銀が発掘**された地（日本書紀、674年）で、鉾脈の分布と関連しているのか、主に厳原町の西部に鉾山の神を祭る神社があり、**樫根**には古代鉾山の坑道が残っています。

**モロクロガミ（諸黒神）**は対馬固有の神で、坑道の漆黒の闇を意味する、あるいは矢立山の別称・室黒岳に由来するとされています。「**異国からやってきた神**」という伝承もあり、朝鮮半島系の鉾山の技術者が安全祈願のために祭ったか、あるいは坑道の闇で誕生した神なのかもしれません。

奈良時代から平安時代にかけて対馬で産出する銀は大宰府に納められましたが、地下を掘り進んで鉾石を採掘する作業は、落盤や出水、酸欠など常に危険と隣りあわせて、落盤事故なども記録されています。江戸時代には対馬藩により銀山の開発が行われ、朝鮮貿易の代価として藩の財政を支えました。

## コラム 阿連（あれ）の鉾山跡

日本最古の対馬銀山は厳原町樫根にあったとされますが、同町阿連の山中にも古い時代の鉾山跡があります。沢の底を掘り下げ、排水のため石を積み、手掘りで岩盤をくり抜いています。対馬の歴史の1ページとして、調査研究が待たれます。

